

P-A-1

「がんの補完代替医療ガイドブック」アンケート調査

The questionnaire survey on the patient-oriented guidebook for the complementary and alternative medicine (CAM) in cancer treatment

○大野 智¹⁾, 鈴木 信孝¹⁾, 住吉 義光²⁾,

1) 金沢大学大学院医学系研究科 臨床研究開発補完代替医療学講座

2) 国立病院機構 四国がんセンター 泌尿器科

Recently, the patient-oriented guidebook for the CAM in cancer treatment was made by the research division of the Ministry of Health, Labor and Welfare of Japan (Grant-in-Aid; 17-14). We carried out a questionnaire survey to revise the guidebook. We report the opinion and request on this guidebook. We also discuss the view towards a future revised edition.

【目的】

厚生労働省がん研究助成金研究班は、平成 18 年 4 月に「がんの補完代替医療ガイドブック」をがん患者向けに作成した。その改訂作業に向けてガイドブックに対する改善点や要望などの意見を拾い上げるためアンケート調査を実施した。

【方法】

金沢大学・四国がんセンターにガイドブックの問い合わせをしてきた者（がん患者、家族など）および日本補完代替医療学会の正会員に対して、ガイドブックの内容量、興味のある項目等を質問票に記入し FAX もしくは郵送にて回答してもらった。

【結果】

内容量が少ないと回答したがん患者が約 30%いた。がん患者、医療従事者ともに、「健康食品の科学的根拠」、「利用にあたっての注意点」に興味が集まった。自由回答欄では、ガイドブックで取り上げられた健康食品以外の補完代替医療の科学的根拠に関する問い合わせが多かった。

【結論】

今後、種々の補完代替医療の科学的根拠を集積・解析し、情報発信して行く必要性が強く求められていることが明らかとなった。